



議会だより



小矢部市から初めてプロ野球ドラフト会議で、ヤクルトに3位指名を受けたプロ野球選手荒木貴裕さん(22) = 下後亟出身 = が市役所を表敬訪問されました。

目 次

| | |
|------------|---|
| 概要 | 1 |
| 審議経過 | 2 |
| 可決議案 | |
| 人事案件 | |
| 委員会報告 | |
| 請願・陳情の処理状況 | 3 |
| 代表・一般質問 | 4 |
| 3月定例会の日程 | 7 |
| 編集後記 | 8 |



荒木貴裕さん(右)と母・裕樹江さん(左)

11月臨時会の概要

11月27日の1日間を会期として開催しました。

小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正1件が上程され、原案のとおり可決されました。

11月臨時会で可決された議案

(条例の一部改正)

議案第44号 小矢部市職員の給与に関する条例等の一部改正について

12月定例会の概要

12月3日から16日までの14日間を会期として開催しました。

初日は平成21年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)など議案4件、最終日には人事案件3件が追加上程され、計7議案を原案のとおり可決しました。

なお、初日には9月定例会で継続審査となっていた平成20年度小矢部市一般会計歳入歳出決算など決算認定8議案も認定しました。

また、請願1件、陳情3件の処理報告、議員派遣の可決を行いました。

12月定例会で可決された議案

(決算認定)

- 認定第1号 平成20年度小矢部市一般会計歳入歳出決算
- 認定第2号 平成20年度小矢部市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第3号 平成20年度小矢部市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第4号 平成20年度小矢部市老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第5号 平成20年度小矢部市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第6号 平成20年度小矢部市下水道事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第7号 平成20年度小矢部市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- 認定第8号 平成20年度小矢部市水道事業会計決算

(補正予算)

議案第45号 平成21年度小矢部市一般会計補正予算(第5号)

(条例の制定)

議案第46号 小矢部市石動駅観光案内所設置条例の制定について

(条例の一部改正)

議案第47号 小矢部市国民健康保険税条例の一部改正について

(条例の廃止)

議案第48号 小矢部市市民交通災害共済条例の廃止について

(追加議案・人事案件)

- 同意第5号 小矢部市固定資産評価審査委員会委員の選任同意について
- 同意第6号 小矢部市教育委員会委員の任命同意について
- 諮問第3号 人権擁護委員の候補者の推薦について

11月臨時会の審議経過

27日 本会議
(提案理由説明・
質疑・討論・表決)

12月定例会の審議経過

3日 本会議(提案理由説明)
全員協議会

4日 議案調査日

7日 議案調査日

8日 議会運営委員会
本会議(代表・一般質問)

10日 桜町プロジェクト特別委員会
民生文教常任委員会

11日 新幹線対策・企業立地等
特別委員会

15日 産業建設常任委員会
総務常任委員会

16日 委員長会議
議会運営委員会

16日 全員協議会
本会議(質疑・討論・表決他)

人事案件

次の方々の選任同意及び候補者の推薦を行いました。

◎小矢部市固定資産評価審査委員会委員

石尾 博美 氏(小矢部町)

◎小矢部市教育委員会委員

佐々木 稲男 氏(西島)

◎人権擁護委員

田屋 八朗 氏(水牧)

委員会報告

各委員会の審議過程の中で、市当局に対し、次の意見がありました。

決算特別委員会

1点目は、市が住民情報や各種税金などの情報管理のために導入しているコンピュータシステムを新たに開発し、又は改修する場
合に必要な委託料について、その価格が適正かどうかをチェックする体制を強化すること。

2点目は、一般会計の歳出において、多額の不用額が生じているものが見受けられた。このような場合が生じたときは、補正予算で対応し、年度内に有効活用できるように積極的に取り組むこと。

総務常任委員会

1点目は、現在、小矢部市役所の職員数は296人となり、平成22年度での職員定員適正化計画の311人を大きく上回って達成されている。平成22年度に新たな計画を作成する予定との

ことであるが、行財政改革を推進するうえで、人件費のウエイトが大きいことから、組織の見直しや行政運営への市民参加、外部委託等も踏まえて、より一層の職員数の削減に努めること。しかし、市民サービスの低下を招くことがないことが大前提であることは言うまでもない。

2点目は、平成23年4月1日を設立目標として協議がなされている消防の広域化について、今年度よりその実現に向けて協議がスタートしており、来年度にはその協議が本格化すると報告があった。諸問題が山積みされている中で、小矢部市民の安心・安全を守るうえで、大変重要でもあり、ことから、しっかりと取り組むこと。

産業建設常任委員会

1点目は、豪雨時に河川が増水することにより、特定の支流では、その都度、洪水が発生し、付近の農地等に被害をもたらしている。市民が安心できる生活を確保するため、河川の改修等の対策を講じるよう関係機関に強く働きかけること。

2点目は、平成22年度から国の減反補償制度について、事業内容の変更により、転作作物によっては、助成が大幅に減額されることが予定されている。生産者の経営安定を図るとともに地域農業の振興のため、地方自治体からの助成内容を拡充すること。

民生文教常任委員会

1点目は、保育所の入所に際しては、現在の厳しい雇用情勢を勘案し、失業者に対して一律に入所基準を適用することなく、就業・子育て支援対策として柔軟に対応すること。

2点目は、石動小学校の耐震性は極めて低い状態にあるため、当局では、平成21年度末までに全面改築に向け、改築事業基本計画を策定する予定だが、これからの世代を担う子供たちが安全で安心できる校舎の整備を緊急に取り組むこと。



請願・陳情の処理状況

次のとおり、請願・陳情の処理を行いました。

| 受理番号 | 件名 (請願者・陳情者) | 審査結果 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 請願第4号 | 日米FTAの推進に反対する意見書提出を求める請願 (農民運動富山県連合会代表者 小林定雄) | 不採択 |
| 陳情第3号 | 地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対し、小矢部川及び一般国道8号の直轄継続と事業促進を求める陳情書 (国土交通省全建設労働組合北陸地方本部富山支部支部長 山崎憲人) | 不採択 |
| 陳情第4号 | 社会福祉に関する陳情書 (社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 宇佐見外行) | 採 択 |
| 陳情第5号 | 安心安全の上水道事業についての陳情 (小矢部市管工事業協同組合理事長 津田外治) | 保 留 |

代 表 質 問

政友会 尾山 喜次 議員

◎平成二十二年予算編成方針について

【問】平成22年度予算編成の中で、第6次総合計画の2年目として、何を重点施策に掲げて市政を展開されるのか。また、予算編成の方針を伺う。

【答】公立学校の耐震化をはじめとした教育環境の整備や、駅南土地区画整理事業の着実な進展、道の駅を核とした交流人口増対策などの重点施策に取り組んでいく。また、平成22年度予算編成方針については、市税の減収が見込まれるなど、財源確保が一層厳しくなることが想定されるため、昨年に引き続き経常的経費について原則5%の削減を行う。

◎平成22年度小矢部市議会政友会の重点要望事項の実施について

【問】政友会では、平成22年度重点要望事項54項目をまとめて市長に提出した。今後の取り組みと見通しについて伺う。

【答】重点要望については、重く受けとめている。特に、木曾義仲のNHK大河ドラマ化に向けては、今後も粘り強く関係機関へ要望したい。また、国道8号俱利伽羅トンネルの整備も引き続き関係機関

へ要望していく。新幹線通過に伴う石動駅周辺整備は、平成22年度に将来計画をわかりやすく示したい。

◎産科・小児科医の確保と当面の出産対策について

【問】市内には産科病院がないが、やむを得ず市外で出産する妊婦へ新年度にどのような対応をするのか。

【答】医師不足により市内の産科再開の見通しが大変厳しい状況である。しかし、子どもを産み育てやすい環境をつくり、より安全に出産をしていただくために新年度予算において里帰り出産の妊婦も含め出産時における交通費補助を検討したい。

◎中小企業の現状と今後の対策及び雇用対策について

【問】デフレ型経済や円高、株安によって中小企業の収益力が低迷し、資金繰りが悪化している。市の経済対策や失業対策の現状はどうか。

【答】市では経済対策として、中小商工業振興融資制度や信用保証料の助成を行っている。また、雇用対策では、平成21年度から平成23年度の間、国の緊急雇用・経済対策を受けて、3年間で約90人の新たな雇用の創出を計画している。

◎道の駅のオープンの現状と今後の問題点について

【問】オープン以降、予想を上回る盛況さであるが、街の中は空洞化が進んでいる。観光資源を活用した観光ルートなど施策を考えなければならぬ。ドッグランでのマナー向上や病害虫対策、展示施設での説明員の配置など来訪者の要望についてどう対応するのか。

【答】道の駅を拠点とした観光ルートは、オープンにあわせポケットサイズの観光ガイドを作成した。道の駅を観光バスの市内発着拠点として、おやべメルヘンガイドによる観光案内の体制を整えたい。ドッグランの衛生・病害虫対策は、年間を通じて計画的な対策を実施する。展示施設説明員は、土日を中心可能な限り確保したい。

◎新型インフルエンザの現状と対策について

【問】新型インフルエンザ予防接種（任意）費用に対する補助を考えているのか。

【答】市は5月1日対策本部を設置して以来、広報おやべ、ケーブルテレビ、啓発チラシ、ミニ講座などを通じて、うがい・手洗い等の励行による感染予防の啓発や公共施設での消毒液の設置などにより、感染拡大防止に鋭意取り組んできた。予防接種に関する助成は、予

防接種法に基づく全額助成、65歳以上の高齢者を対象とした季節性インフルエンザの一部助成を行っている。任意の予防接種は、原則として希望者の負担となります。

◎減反補償制度と農業所得補償制度の内容と今後の対応策について

【問】国は22年度農業予算を大幅減とした。農業所得補償制度の内容と対策はどうか。また、事業仕分けによって、農道整備事業の廃止、農地・水・環境保全事業費削減などに、市はどのように対応するのか。

【答】23年度からの個別所得補償制度は、生産数量目標に従った農家に対し、販売価格が生産コストを下回って赤字になった場合、差額分を直接支払う制度である。22年度は米の個別所得補償モデル事業が実施される。併せて、転作物物の交付単価も大幅に見直される。また、事業仕分けによって、農道整備事業が廃止とされたが、詳細が今のところ不明である。農地・水・環境保全事業は1割程度削減されるものの、直接的な影響は少ないと考えている。



一般質問

◎質問者 嶋田 幸恵 議員

【問】「おやべ型1%まちづくり事業」が実施されているが、協働のまちづくりとの整合性はどうか。また、「サポーター制度」の構想はあるのか。

【答】市民活動促進策の一つの施策として、「おやべ型1%まちづくり事業」を位置付けている。さらなる普及促進に努めたい。また、「サポーター制度」も協働のまちづくりを推進する環境整備の一つであり、「まちづくりサポーター」として募集登録し、必要に応じて参加してもらおうような制度の創設を検討したい。

【問】女性団体連絡協議会には現在14団体が加入し、市の発展及び女性の地位向上のため活動されているが、会員の減少、高齢化等が進んでいる。女性団体への活動支援と相談窓口の門戸を開いて欲しい。

【答】女性団体には、福祉・教育・安全分野など多方面において女性の視点からの助言や活動により市政運営に多大な貢献をいただいている。支援対策、相談窓口は、市民協働課を利用していただきたい。

【問】石動駅観光案内所が開設されるが、観光案内、観光情報の発信

をどのようにするのか。バス、タクシーでの観光案内などと連携が取れるのか。

【答】観光地案内をはじめ祭りやイベントなどを紹介し、情報発信基地として活用したい。特に木曾義仲公や巴御前に関する書籍や資料等を常設、周知し、NHK大河ドラマ化の実現に寄与したい。また、沼田町、金沢市、津幡町や近隣とも連携し、観光情報を相互発信する。交通手段は、バス時刻表の設置、タクシーは所要時間、方面別にモデルコースを案内したい。

【問】道の駅は「メルヘンおやべ」に決定したが、メルヘンにこだわりの一つの方向性とすべきだ。メルヘンチックなイベントの開催やイルミネーションの装飾などを構想に入れてはどうか。

【答】施設運営管理は指定管理の業務であり、意見箱の設置など施設利用者の意見調査も業務として実施されることから、調査結果を含め検討していきたい。

*その他、次の質問がありました。「おやべファンクラブ夢想」「シンボルキャラクターの今後と活用」「小矢部市における医療体制」について

◎質問者 山本 精一 議員

【問】新政権は透明性、公平性を確保するため、陳情の新ルールを作ったが、本市はどう考えているか。

【答】国に対する要望、陳情については、新たに民主党富山県連に窓口が一本化され、それ以外の方法では受付されないが、県内他市の動向も踏まえ適切に対応する。

【問】新政権は、22年度の公共事業予算を削減しようとしているが、本市への影響と対応策はどうか。また、指名競争入札に市内業者を最優先に参加させているのか。

【答】公共事業に占める補助事業のウエイトが大きい本市では、経済状況や新年度予算対応が不透明であり予想は困難である。指名競争入札では特殊仕事を除き市内業者を指名する。一般競争入札では、市内業者又は市内に営業所を有する準市内業者を参加資格としている。

【問】平成20年度の県内公立小中学校の暴力行為が、県が調査を始めて最多である。家庭での教育が大切と思われるが、本市はどのように対応するのか。

【答】本市では、平成20年度から21年11月までは、暴力行為に関する

報告事例はない。本市では、子供たちのコミュニケーション能力の向上と対人関係づくりに重点を置いた指導や人権学習に取り組んでいる。また、多人数学級支援講師やスクールカウンセラー等サポート活動を行っている。

【問】政府の事業仕分けによって農林業事業予算の廃止や削減など大変厳しい結果となった。市の事業にも影響が出てくると思う。特に市の特産化を目指す「ハトムギ」の転作補助金は、大幅に減額されるが、市単独の助成などの対応策を考えてはどうか。

【答】事業仕分けにより、農道整備事業などのハード事業は廃止や大幅な縮減となった。中山間地域直接支払制度は現行どおり、農地・水・環境保全向上対策事業は、1割程度減となった。「ハトムギ」は20年度から市内で本格的な生産が始まり、市の特産化としての地位を築こうとしており、県と協議しながら助成制度の拡充に努めたい。

*その他、次の質問がありました。「鳥獣被害防止総合対策」について



一 般 質 問

◎質問者 石田 義弘 議員

【問】陸上競技場は砺波地区唯一の2種公認の競技場であるが、トラック等の損傷が激しいので、24年度の2種公認の更新に向け整備してはどうか。また、各体育施設の冬期休業期間が長いので、管理者や利用者の意見をもとに見直しを検討してはどうか。

【答】更新にはトラックレーンの摩耗の改修が必要であり、第6次総合計画の中で23年度に改修を行い、更新を計画している。また、施設の冬期休業は、利用者の安全面を第一に管理運営がされているが、安全面に考慮し、利用者の要望に応えることができるよう、前向きに検討したい。

【問】県内各市で、コンベンション開催に対する助成制度を設けて合宿やスポーツ大会の誘致に力を入れているが、当市は合宿などに対して補助制度を設けて誘致してはどうか。

【答】ホッケーでは既に高校生や大學生の県外チームの合宿地として定着しつつある。しかし、対応できる宿泊施設が十分でないことが課題であり、当市の優位性をどのようにアピールしていくか、また、

補助制度の創設の是非など、その仕組みづくりを検討したい。

【問】政権交代により補正予算の執行停止や事業仕分けによって様々な分野での事業の廃止、削減、見直しが言われている。当市の第6次総合計画に少なからず影響が出てくると思うが、計画の見直しや変更があるのか。

【答】実施計画については、5年間の計画期間中で今回の政権交代のように社会情勢に大きな変化が生じた場合は、必要に応じ、見直しを図ることになっている。

【問】政権交代によって、農業政策が大きく変わり、米の生産調整による転作物に大きな影響が考えられるがどう対応するのか。また、土づくり支援事業などメルヘン米の支援対策の拡充に努めて欲しい。

【答】転作物物については、国の制度設計を踏まえ、県と協議しながら助成内容の拡充に努めたい。また、土壌は農業生産の基盤であり、健全な土づくりを推進することは高品質で安全・安心な農産物の供給に極めて重要と考えており、市単独の助成を引き続き継続するとともに支援の拡充を検討する。



◎質問者 中田 正樹 議員

【問】本市では外部評価委員会において事業評価が実施されているが、事業仕分けはされていない。外部評価をバージョンアップし、事業仕分けを導入してはどうか。

【答】本市の外部評価は事務事業評価に対し、市民の視点からの意見で評価の客観性や信頼性を高めるもので、事業仕分けが目指す要否を判定する目的とは異なる。市民の意見が時には排除され、効率性のみを重視した評価に結論づけやすい面もあり、現段階では事業仕分けの導入は考えてない。

【問】市職員が民間企業へ複数年出向し研修することで、職場に大きな影響、効果が期待され、意識改革が図られると思うがどうか。

【答】行政とは違う職場で経験を積むことは幅広い視野を培う上で有益であり、職員の意識改革に大きな効果があると認識している。実効性のある民間研修のあり方、採用のあり方も含め、検討したい。

【問】稲葉山に風力発電設備があるが、温暖化対策だけでなく観光面でも貢献するため、できる限りの支援していくことが必要でないか。また、道の駅で電力量を表示

するなど環境に優しい小矢部市をアピールすることはできないか。

【答】風力発電設備は3基稼働しており、今後の増設のため調査も実施された。観光面からも非常に大きな財産となることから、市としても積極的に協力したい。風力発電量を道の駅で表示することは、管理事業者と協議したい。

【問】クロスランドと道の駅は、小矢部の交流施設として活況を呈することが本市にとって最も重要な課題の一つである。今後、どのように取り組んでいくのか。また、クロスランドのダ・ヴィンチ・ミュージアムの現状と今後についてはどうか。

【答】クロスランドおやべと道の駅「メルヘンおやべ」では、市内外の観光パンフレット等を設置している。両施設が相乗効果を生むよう、互いの情報を共有し、施設に掲示するとともに、チラシや新聞広告等についても可能な限り同時掲載を行いたい。ダ・ヴィンチ・ミュージアムは利用者が減少しており、新企画に取り組むとともに、衣替えも考えながら検討していきたい。
*その他、次の質問がありました。「子ども課の設置」について

一般質問

◎質問者 砂田 喜昭 議員

【問】民主党政権による農業の所得補償については賛成するが、日本の穀物自給率が悪いのに転作助成金を削ることは認められない。また、日米FTA交渉の促進によって関税を撤廃されると日本の米づくりはどうなるのか。

【答】転作助成金の減額は市の農産物生産振興に大きな影響を及ぼすことが予想されるため、県と協議しながら助成内容の拡充に努めた。また、日米FTAは少なからず影響があり、慎重に進めるため県等を通じて働きかけを行う。

【問】家族従業員の給与を必要経費と認めない所得税法第56条は、人権侵害の差別的規定である。本市として国へ廃止を訴え、働きかけるべきではないか。

【答】所得税法第56条が制定された戦後間もない時期から比べ、社会が変化しており、意義が失われたとして、各種団体から国へ要望が出されている。この問題は法律問題であり本市単体での取り扱いは難しい。国の動向を注視したい。

【問】失業等による生活保護の相談者へ、憲法25条の精神をきちんと伝えることで、生きる勇気を与え、

日本に住んで良かったと思ってもらえるのではないかと。また、縦割り行政の枠を超えて、相談者に応じたつなぎ資金等の対策を提示する必要があるのではないかと。

【答】生活保護については、本年11月30日に国において施行された休職者を対象としたワンストップサービスに加えて、各自治体窓口においてもよりきめ細かな対応を実施している。また、市民生児童委員協議会には、生活保護申請者が支給を受けるまでのつなぎ資金として貸付制度がある。

【問】全国のダム建設の見直しが行われており、利賀ダムも対象である。本市としても、必要なデータを国県に開示させ、費用対効果、地滑りの影響などを独自に検証すべきでないか。

【答】横江宮川、黒石川が浸水想定区域であり、近隣市と連携をとり事業継続を要望している。国は12月3日、ダム事業の継続が妥当かどうかの判断基準を策定する有識者会議を開催したところであり、今後の推移を見極める必要がある。*その他、次の質問がありました。「風力発電」「下水道計画の見直し」について

3月定例会の日程

太字はCATVの放送予定

- 1日(月) 本会議(提案理由説明) 全員協議会
- 2日(火) 全員協議会
- 3日(水) 全員協議会
- 4日(木) 議案調査日
- 5日(金) 議案調査日
- 8日(月) 議会運営委員会 本会議代表・一般質問
- 9日(火) 本会議(一般質問)
- 10日(水) 予算特別委員会
- 11日(木) 予算特別委員会
- 12日(金) 予算特別委員会
- 15日(月) 桜町プロジェクト 特別委員会 民生文教常任委員会
- 17日(水) 新幹線対策・企業立地等特別委員会 産業建設常任委員会
- 18日(木) 総務常任委員会
- 19日(金) 委員長会議
- 23日(火) 議会運営委員会 全員協議会 本会議質疑・討論・表決

傍聴のお知らせ

市議会では、本会議と各常任・特別委員会への市民の皆様への傍聴をお待ちしております。

本会議を傍聴されたい方は、会議当日、議会事務局(市役所3階)にて傍聴券の交付を受けてください。約50名の傍聴が可能です。

また、各常任・特別委員会を傍聴されたい方は、開議時刻の1時間前から30分前までの間に、議会事務局で傍聴の申し込みをしてください。定員は先着5名です。

各常任・特別委員会では、本会議で表決に付される議案の事前審査が行われます。上程された議案の内容説明と委員からの質疑が行われており、活発に意見がやり取りされる様子を是非ご覧ください。



※「電話や代理の方の申し込みは、できません。」

■ 会 務 報 告

小矢部市議会の主な行事は、次のとおりです。

平成 21 年 9 月 25 日～平成 21 年 12 月 2 日

| 年月日 | 件 名 | 摘 要 | 開催地 |
|-----------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 21. 10. 7 | 正副議長就任あいさつまわり | 県選出国会議員、県東京事務所等 | 東京都 |
| 10. 7～15 | 全国市議会議長会海外都市行政調査団派遣 | 自然環境保護、高齢者福祉について調査 | 豪州・ニュージーランド |
| 10. 18 | 陸上自衛隊富山駐屯地創立 47 周年記念行事 | 記念式典 | 砺波市 |
| 10. 22～23 | 桜町プロジェクト特別委員会行政視察 | 遺跡と博物館の一体的活用について 道の駅湯の川について | 島根県斐川町 |
| 10. 27～28 | 新幹線対策・企業立地等特別委員会行政視察 | 風力発電事業の今後の取組みについて 第3セクター方式の鉄道事業の課題について | 茨城県日立市 茨城県ひたちなか市 |
| 10. 29 | 10 月全員協議会 | 海外都市行政調査報告、行政委員会等の会務報告等報告事項（9 件） | 小矢部市役所 |
| | 議会だより編集委員会 | 第 155 号の発刊について | 小矢部市役所 |
| 11. 2 | 小矢部市・津幡町議会議員交流会 | 越中を駆け抜けた武将「猛将木曾義仲」勉強会 | おやベクロスランドホテル |
| 11. 4 | 総務常任委員会 | 外部評価委員会の開催状況について | 小矢部市役所 |
| 11. 6 | 産業建設常任委員会 | 平成 21 年度除雪実施計画について | 小矢部市役所 |
| 11. 10～12 | 決算特別委員会 | 認定第 1 号平成 20 年度小矢部市一般会計歳入歳出決算から認定第 8 号平成 20 年度小矢部市水道事業会計決算まで、及び平成 20 年度決算関係調書等の審査並びに証拠書類の閲覧審査について | 小矢部市役所 |
| 11. 17～19 | 「立山の塔」慰霊行事 | 南方戦没者沖縄慰霊塔奉賛会 | 沖縄県糸満市 |
| 11. 18 | 議会運営委員会 | 11 月小矢部市議会臨時会議案第 44 号について審議 | 小矢部市役所 |
| 11. 19 | 富山県市議会議長会協議会 | 議会議員年金制度について | 富山市 |
| 11. 24 | 民生文教常任委員会 | 施設調査（2ヶ所）報告事項（2件） | ケアタウンおやべ わくわく小矢部 |
| 11. 25 | 議会運営委員会 | 12 月小矢部市議会定例会議案第 45 号～48 号、認定第 1 号～8 号の通告及び採決方法及び陳情（2 件）付託について審議 | 小矢部市役所 |
| 11. 27 | 議会運営委員会 | 11 月小矢部市議会臨時会議案第 44 号の通告及び採決方法について審議 | 小矢部市役所 |
| | 11 月全員協議会 | 議案第 44 号、行政委員会等の会務報告及び報告事項（6 件） | 小矢部市役所 |
| | 11 月小矢部市議会臨時会 | 議案第 44 号審議 | 小矢部市役所 |
| 12. 2 | 市町村長・同議長と商工会長との懇談会 | 商工会の要望事項、意見交換会等 | 富山市 |

■ 市 外 行 政 視 察

市外からの行政視察を次のとおり受け入れました。

(3 市町 30 名)

| 年月日 | 視 察 者 | 視 察 項 目 | 人 数 |
|------------|------------------------|-------------------------------------|------|
| 21. 10. 15 | 長崎県長与町議会文教厚生常任委員会 | 高齢者の安全・安心施策について | 8 人 |
| 10. 15 | 愛知県豊山町議会総務文教・福祉建設常任委員会 | 1%まちづくり事業について 行政ボランティアの現状と課題について | 16 人 |
| 10. 23 | 東京都昭島市議会自民党会派 | エコキュート（高効率給湯器）補助制度について | 6 人 |

編集後記

市民の待望久しい賑わい空間として道の駅「メルヘンおやべ」が、めでたくオープンいたしました。

来訪者の快適な休憩をはじめ、道路等の情報提供、地域交流促進の拠点として、県内外の多くの方々に愛される施設になることを大いに期待するものであります。

市議会としましては、この道の駅「メルヘンおやべ」が、活力ある地域づくりの起爆剤としてその真価を十二分に発揮することができるよう積極的に支援・協力していきたくと考えております。

是非、道の駅へお立ち寄りいただき、「句のおやべ」を感じ取ってください。

次回の「議会だより」は、平成22年5月の予定です。
(議会だより編集委員一同)